

## 南阿蘇村農業体験田植え支援活動

令和6年5月 25 日(土) 午前 9:30 から熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併(旧両併小学校前)で行われた、(一社)南阿蘇村農業みらい公社主催の南阿蘇村農業体験田植え支援活動に約 40 名(うち会員 2 名)参加しました。

阿蘇のカルデラに位置する南阿蘇村の水田は、下流域の熊本市などの地下水を支える重要な地下水涵養の役割を担っています。しかしながら、担い手不足などから放棄される水田が目立ってきたことから、(一社)南阿蘇村農業みらい公社が管理を請け負うとともに、水田の役割の周知や地域農産物の一つであるお米の PR を兼ねて、田んぼオーナー制を実施しています。この田んぼオーナー制は、湧水源からの新鮮な水を活用し、農薬と化学肥料を一切使わずに美味しいお米を作るというのが特徴です。

5月 25 日好天の中、遠方は福岡からのご夫婦を含め、大人子供合わせて約 40 名のオーナーが参加して、田植えが行われました。苗の採り方、掘り方や植え方を公社の方から教わり、慣れない足もとにもたつきながら、約 2 時間をかけて、20a の田植えを終えました。

特に子供達は、初めてのオタマジャクシに驚いたり、せっかく植え付けた苗を踏んでしまったりとハプニング続きでしたが、とても楽しそうに田植えを行っていました。

当会は、場所の目印の登り建て、休憩用のテント張り、運搬車からの苗下ろしの準備作業、植え付け時の苗の補給作業、列を移動しながら植える位置を示すロープ張りなどの支援を行いました。

10 月初旬には再びオーナーが集い、稲刈りが行われる予定です。

植え方の指導に熱心に耳を傾ける参加者



ハプニング続きの田植え

